

国道413号線経由で山中湖へ行ってきました。この道は、神奈川県と山梨県の県境付近と、山中湖の少し手前の山伏峠付近にワインディングロードがあり、その一部には樹木がうっそうと茂っています。走りを楽しむために、週末には多くのライダーが集まり、中には同じところを何往復もして楽しんでいくグループもいます。また、自転車の隊列にもしばしば出会います。こうした中には、カーブを減速せずに突入するばかりかタイヤがセンターライン上を通過する（車体が傾いているのではみ出している）ライダーや、追い越し禁止区間を猛スピードで追い越していくライダー、登り坂を複数台で並走している自転車といった、マナーや安全への配慮を欠く人たちもいます。

こうした「困った人たち」に閉口しながら進んでいくと、「2020東京オリンピック自転車ロードレースコース」と書かれた表示を見つけました。確かにロードレースにはもってこいのコースですが、連続雨量100mmで通行止めになり、一部の崩落区間の修復工事以外はレースに向けた整備工事等は行われておらず、現実味に乏しい印象です。その上、「困った人たち」が出没するようでは、オリンピックどころではありません。ただ、こちらは当日交通規制すればいいだけですね。(I.O)

あとちょっとでスマホ端末代金の2年縛りから解放されるため、そろそろ買い替えか、まだしばらく我慢して月々の通信費を節約しようか迷い中。これまでいろいろな機能を身につけてきたスマホですが、この先どのようなデバイスに成長するのでしょうか。

すでにスマホ本体を定期券として使っており、血圧計や体重計から計測数値をBluetoothで飛ばして記録する血圧手帳としてなくてはならない存在であり、動画配信サービスに加入し、いつでもどこでもレンタルビデオ感覚で数多くの映画等が観られるし、スマホは数年前とは比較にならないほど進化しています。大手SNSでは膨大なユーザー数を武器に独自仮想通貨を計画中で、ユーザー間の送金や購入代金の支払いが可能になるようです。

これらはサービススペースの機能ですが、そろそろデバイススペースの新規性にも期待したいものです。カメラが三つ目になる程度のもではなく、見た目からしてガラッと違うとか、使い方が目新しいとか、など。

老眼が進み、大きいサイズのスマホを使っていますが、それでもまだ文字を読むのに苦労しています。SF映画では使い古されているかもしれませんが、ディスプレイが立体的に飛び出して、大画面で文字が読めるような端末とか、出てくれないものでしょうかね。(Y.H)

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知して、そこへ行った時

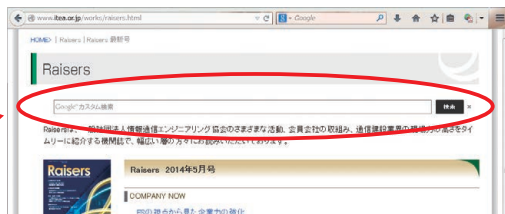
「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から

読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご利用ください。



Raisers第 67 巻 第5号 (通巻第738号) 2019年9月5日印刷 2019年9月10日発行

本体価格600円(税別) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

